**事業者向け**

**放課後等デイサービス自己評価表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **チェック項目**  | **はい**  | **どちらともいえない**  | **いいえ**  | **改善目標、工夫している点など**  |
| 環境・体制整備  | ①  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | ○ |  |  | 療育の内容や子どもに合わせて使う部屋を適宜変更している。 |
| ②  | 職員の配置数は適切であるか  | ○ |  |  | 療育の内容（集団か個別かなど）によって療育に入る人数を変えて、適切な人数になるようにしている。 |
| ③  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか  |  | ○ |  | 階段があるため安全のため手すりが設置されている。 |
| 業務改善  | ④  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | ○ |  |  | 療育内容や反省点などをスタッフ間で共有し、今後の対応などを一緒に考え、反映させるようにしている。 |
| ⑤  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | ○ |  |  | 年に1回保護者向けのアンケート調査を行い、スタッフ間で情報の周知を行っている。どうすれば改善できるかスタッフ間で検討し、改善策を講じている。 |
| ⑥  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか  | ○ |  |  | 法人のHPで公開している。http://tanimoto-syounika.jp/program.html |
| ⑦  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  |  |  | ○ | 定期的には行われていない。 |
| ⑧  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | ○ |  |  | 月に1回全体で研修を行い、職員の質の向上を図っている。 |
| 適切な支援の提供  | ⑨  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか  | ○ |  |  | 子どもや保護者のニーズを伺い、将来を見据えて客観的に物事を考えながら個別支援計画に反映できるようにしている。 |
| ⑩  | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか  | ○ |  |  | 子どもに合わせてアセスメントを行うようにしている。 |
| ⑪  | 活動プログラムの立案をチームで行っているか  | ○ |  |  | 事業所内のスタッフで相談しながらプログラムの立案を行っている。 |
| ⑫  | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか  | ○ |  |  | 子どもひとりひとりの状態を見ながら活動プログラムを立案している。また、季節感を感じられる遊びや課題を定期的に取り入れて、活動プログラムが固定化しないように工夫している。 |
| ⑬  | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか  |  | ○ |  | 平日、休日、長期休暇で特に違いはないが、イベントや季節感を味わえるような内容を入れるようにしている。 |
| ⑭  | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか  | ○ |  |  | 子どもや保護者のニーズや状況に応じて個別活動と集団活動の活動を組み合わせて個別支援計画を作成している。 |
| ⑮  | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか  | ○ |  |  | 個別療育では、状況を見ながら必要に応じて職員間で相談し療育内容を相談している。集団療育では複数のスタッフで対応するため、協力して支援内容を考えている。個別療育、集団療育ともに個々の特性に注意しながら計画立てを行っている。 |
| ⑯  | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか  | ○ |  |  | 個別療育では、必要に応じてスタッフ間で相談し次回の療育に生かしていけるようにしている。集団療育では、その都度療育の振り返りを行い、情報共有している。 |
| ⑰  | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか  | ○ |  |  | 記録を毎回記入し、他の職員が見ても理解が出来るようにわかりやすく書くように工夫をしている。 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|   | ⑱  | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○ |  |  | 半年に一度モニタリングを実施。保護者と職員で一緒に評価を行い、計画の見直しが必要かどうかを判断している。 |
| ⑲  | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか  | ○ |  |  | ニーズに応じて複数の活動を取り入れていくようにしている。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携  | ⑳  | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | ○ |  |  | 可能な限り管理者や児発管が参加するようにしている。 |
| ㉑  | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか  | ◯ |  |  | 保護者を通じて学校での様子や行事などの情報を聞くようにしている。必要に応じて学校連携を行い、学校との情報共有を図っている。 |
| ㉒  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか  |  |  | ○ | 現在、医療的ケア児の受け入れを行っていない。 |
| ㉓  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか  |  | ◯ |  | 法人内の児童発達支援に通われていた場合は、事前に情報交換を行っている。 |
| ㉔  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか  |  | ◯ |  | 必要に応じて支援内容の情報を提供するようにしている。 |
| ㉕  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか  |  | ◯ |  |  |
| ㉖  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか  |  |  | ○ | コロナ渦で大人数での活動を避けるようにしている。 |
| ㉗  | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか  |  | ○ |  | 広島市自立支援協議会佐伯区地域部会に参加。（なお令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い定例会は中止。） |
| ㉘  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか  | ○ |  |  | 療育終了後に保護者に振り返りをする時間を設けている。必要に応じて別日で相談の時間を設けることもある。 |
| ㉙  | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか  |  | ◯ |  | 必要に応じて、振り返りの時に必要な知識や対応の仕方などを保護者に対して伝えるようにしている。 |
| 保護者への説明責任等  | ㉚  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか  | ○ |  |  | 重要事項説明書や利用契約書の説明をする中で運営規定や支援内容、利用者負担などについて具体的に説明をしている。 |
| ㉛  | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○ |  |  | 色々な角度から保護者に対して助言や支援を行うようにしている。保護者から相談の申し入れがあった場合は、2人以上の職員で参加している。 |
| ㉜  | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか  | ○ |  |  | コロナウイルスの感染者が多い状態なので、現在は保護者会や父母の会などは行っていない。感染状況を見ながら対応していく。 |
|  | ㉝  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか  | ○ |  |  | 苦情の受付に関しては、待合に掲示している。苦情があった場合には、スタッフ間で相談し今後の対応策などについて話し合いを行っていく。 |
|  | ㉞  | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか  | ○ |  |  | LINEを使ってお知らせすることがあれば伝えるようにしている。また、イベントの新聞を子どもが作り待合に掲示することもある。 |
|  | ㉟  | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |  |  | 個人情報の管理は、保管場所の徹底や持ち出しの禁止などについてスタッフ間でルールを周知している。 |
| ㊱  | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○ |  |  | 状況に応じて絵カードやイラスト、文字で書いて提示するなどの配慮を行っている。 |
|  | ㊲  | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか  |  |  | ○ | コロナ渦ということもあり、事業所内での活動を控えている。 |
| 非常時等の対応  | ㊳  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか  |  | ◯ |  | 防犯に関する対応については待合に掲示している。 |
| ㊴  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか  | ○ |  |  | 避難訓練を4回実施している。火災訓練2回洪水訓練1回地震訓練1回 |
| ㊵  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか  | ○ |  |  | 法人内全体での研修を今年度に1回実施した。 |
| ㊶  | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか  |  | ○ |  | 身体拘束を行う場合についての内容を運営規定に記載しており。契約時に身体拘束についての説明も行っている。 |
| ㊷  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか  |  | ○ |  | 調理を行う場合には、事前に保護者の方からアレルギーについての有無を確認している。 |
| ㊸  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  |  | ○ |  | 事故やケガが発生した場合には、事業所の中で情報共有をして、今後な対策についても話し合っている。 |